



石橋 義雄
(高志会)

公約実現のための取り組みは

事務事業評価など

適切な進行管理で

議員 市長の二期目がスタートしたが、公約実現のためにどのように取り組むのか。

市長 市長選に当たり、市民目線による「信頼される政治姿勢」を基本とし、元氣な未来にむけて、希望のある未来にむけて、安心な未来にむけてという三つの柱立てをし、これに関連する二十項目の取り組みを掲げました。

ていきます。また、平成二十三年度から導入した事務事業評価と合わせ、公約の実現と質の高い効果的な事務事業の遂行に全力を尽くします。

議員 中央病院の経営状況は。

病院事業管理者職務代理者

平成二十二年と平成二十三年度は、市の特別な支援と病院職員一丸となって経営改善に取り組んだ結果、現金ベースでの単年度資金収支は黒字でした。平成二十四年度は、平成二十五年一月までの医業収支が約二億千七百円円の赤字になっており、今後さらなる経営改善に全力を尽くします。

業を進める際は、これまでと同様に事務執行に当たったの目標を掲げ、私も含めた幹部会議による検討をし、進行管理をし

議員 マスコミ等を活用して、積極的に観光情報を発信する考えは。



積極的な観光情報発信を

観光商工部長 県では平成二十四年度から、県内の余り知られていない観光情報や特選素材、おいしいものやお店などを、主に首都圏に向け情報発信しており、当市においても継続して活用していきます。また、マスコミへの働きかけの手段についての研究や、取り上げたいようなコンテンツをつくり出し、情報発信力の強化に努めていきます。

定住自立圏が機能するための鍵は

庁内連携による全員野球



野 月 一博
(高志会)

議員 定住自立圏連携の進め方と機能するため必要なことは何か。

市長 共生ビジョン策定後の取り組みの実施、検証に当たっては、これまでと同様に取りまとめ

などでは定住自立圏担当課で対応し、それぞれの連携

携事業については各担当部門が中心となり圏域市町村と協議検討していきます。当市は三沢市とともに中心市であり、各担当部門が果たす役割は大きい。定住自立圏担当課がしっかりとサポートし、進めていきます。

ており、平成二十五年度中の緊急情報自動配信体制構築に向け取り組んでいます。

議員 十和田観光電鉄

建設部長 三沢市、六戸

企画財政部理事 実務的に上手に機能するために、庁内で連携し、全員野球で取り組むことが重要と考えています。

議員 東日本大震災により、住民による自主防災組織設立の機運が高まっているが、当市の状況と対応は。

市長 現在十団体が自主防災組織として活動しています。平成二十五年は、県の事業を活用し、自主防災組織の資機材の整備などを考えています。

議員 緊急時の情報伝達方法は。

総務部長 地理的条件や費用対効果を考慮し、携帯電話によるエリアメールの活用が効果的と考え



道路用地としての整備を望む鉄道跡地